

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）
令和七年八月十日発行（毎月一回十日発行）

定価 五〇〇円

第1007号

龍

跳

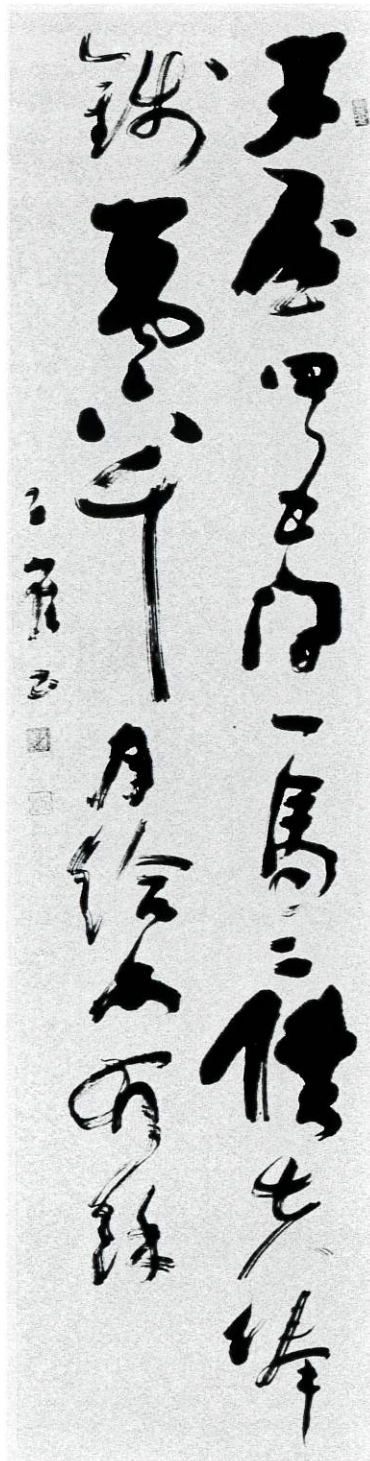
第八十一卷

9

月号

高知
龍跳書道会

竹村子雀書



茅屋四五間。一馬二僕夫。俸錢萬六千。月給亦有 余

翻刻左繡敘^{しやう}

菘翁

翻刻左繡敘



左傳非邱明所作也。唐宋已
來論之。鍾惺於文定標之。左
氏文章也。非經傳也。朱軾於
此書論之。苞謂夫子修魯史
春秋。以為千萬世史家法也。

左傳非 邱明所作也。唐宋已來論之。鍾惺於文定標之。左氏文章也。非經傳也。朱軾於此書論之。
苞謂夫子修魯史春秋。以為千萬世史家法也。

この左繡叙稿本は、菘翁が自家出版した左繡（嘉永七年刊）のための叙文の草稿である。細字行書のよき模範といえよう。

河村容舟書

暮雲卷雨秋先到桂樹未花意自香

暮雲卷雨秋先到桂樹未花意自香

容舟書

中平美峰書

夕陽千樹鳥聲寂涼月一庭花影深

夕陽千樹鳥聲寂涼月一庭花影深

美峰書

梅
川
桂
龍
書

秋 水 界
平 野

秋 水 しゅうすい
平 野 を 界 し きかい

9 月 20 日 締 切

福 原 曉 雲 書

菊松書色多し

菊松色多し

福 原 曉 雲 臨

翻刻左繡叙

非繡傳也

傳非也

江 西 澄 翠 書

巢穴翡翠朝雲暖
窗發雲霞來雨潤

岩 河 里 華 書

雨餘高倚初迎夏
風遠步花為駐春

大 原 桂 園 臨

晴以爲子如燕
及之致此子春

中 平 幸 仙 書

采爲小中雲山主靜
風花雪月權

定於他母子充此道
不還可令來也

河村容舟

故知般若波羅蜜多
是大神呪是大明呪

大石千施

人有養謹者扶持明
著令蘭臺

小笠原廣峰

以所教之義編如木
軍之策札臨改

横田紫秋

列坐其次雖無絲竹管
弦之盛一觴一詠

水田紅子

求諸河物之古得推
移之興陳義道

濱田幸子

而況解之厥以通按豈可
明之乎世澤一治詞矣

氏原美泉

其功除暴不以威力此至
德全於天下矣

川崎志津

馬嘶白日有劍鳴秋氣
不我河

丸田宏子

不立勢而南者不
知法居河以皆

濱田順子

条幅当選作品

福原 曉 雲 選評

★天位

河村容舟君 〓 強い線質で書いています。各字の終筆

部分が細く弱いです。

大石千施君 〓 聖教序臨、中々線が強く流れがよござ

います。

小笠原廣峰君 〓 勢いのある作品です。今後は波磔を

研究して欲しいです。

横田紫秋君 〓 流れ良し、一行目終筆文字が詰まった

のが気になるところ。臨書名を出品票

に記載のこと。

水田紅子君 〓 蘭亭叙、新鮮で勢いのある作品。

★地位

濱田幸子君 〓 作品は良く流れて良いですが、落款本

文に合わず。

氏原美泉君 〓 書譜臨、前者と同様、良く流れてまろ

やか。運筆リズムが大変良い作品です。

川崎志津君 〓 用筆が基本に乗つとつて、几帳面。筆

を少し太くして書して下さい。落款、

上に。

★人位

丸田宏子君 〓 線質に、少しもたつきが気になります。

墨量を多くして下さい。

濱田順子君 〓 今後、運筆リズムを付けて下さい。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◁

8月の審査は24日（日曜）午前9時30分に開始
します。審査会場は**高知城ホール**です。

言語表現

9月20日締切

技術科学

9月20日締切

大会 体育

9月20日締切

高音 足音

9月20日締切

山の秋

9月20日締切

夕日

9月20日締切

じ

9月20日締切

は

9月20日締切

チリのイースター島では、									
豊かな森林の恩恵を受けて、									
高度な技術をはこる巨石文化									
が栄えた。西暦一五〇〇年こ									
ろには、人口は七千人に達し									
ていたと推定されている。									
学校名	六年			級段	氏名				

9月20日締切

知り合いのかりゅうどにさ									
そわれて、わたしは、イノシ									
シがりに出かけました。イノ									
シシがりの人々は、みな栗野									
岳のふもとの、大造じいさん									
の家に集まりました。									
学校名	五年			級段	氏名				

9月20日締切

梅	ぼ	し	の	作	り	方	を	、	三
つ	に	分	け	て	順	番	に	説	明
し	ま	す	。	ま	ず	、	水	あ	ら
い	で	す	。	次	に	、	梅	を	塩
づ	け	に	し	ま	す	。	最	後	は
、	日	光	に	当	て	て	ほ	す	作
業	で	す	。						
学 校 名		四 年	級 段	氏 名					

9月20日締切

初	夏	の	里	山	は	、	緑	い	っ
ば	い	の	と	て	も	う	つ	く	し
い	世	界	で	す	。	イ	ネ	が	元
気	に	す	く	す	く	と	そ	だ	ち
や	さ	し	い	風	に	ふ	か	れ	て
、	ゆ	れ	て	い	ま	す	。		
学 校 名		三 年	級 段	氏 名					

9月20日締切

え	っ	ち	ゃ	ん	は	、	お
か	あ	さ	ん	に	赤	い	
す	て	ぎ	な	ぼ	う	し	を
も	ら	い	ま	し	た	。	う
ら	を	見	て	こ	ら	ん	。
かっこう		一	ねん	だ	い	き	な
				き	う	な	え

8月20日締切

ぬ	る	り		わ	か	ぬ
し	こ	し	こ	た	こ	
あ	っ	あ	っ	の	ふ	ろ
ふ	き	だ	い	こ	ん	
かっこう		一	ねん	だ	い	き
				き	う	な

8月20日締切

愛山頻

出門
竹舟 江本虎雄

愛山頻

出門
海庭 澤節 大所 房博

愛山頻

出門
柴 秋之

愛山頻

出門
美 枝之

愛山頻

出門
竹 清玄

愛山頻

出門
美 枝

愛山頻

出門
美 芽

愛山頻

出門
勝 子

愛山頻

出門
未 花之

愛山頻

出門
秋 桜

愛山頻

出門
和 如之

愛山頻

出門
千 枝之

愛山頻

出門
鳥 山

愛山頻

出門
光 草

愛山頻

出門
和 美

愛山頻

出門
里 惠香

愛山頻

出門
香 采 洋軒

愛山頻

出門
恵 弘之

愛山頻

出門
美 香之

愛山頻

出門
衣 田子吉

(一・二段目) 前田秀華 選評

澄翠君 骨格凛として安定している。

賀峰君 無理のない線に温味あり。

恵花君 筆勢あり、力強い作。

眉州君 素朴で自然な運筆。

清園君 鋒を吊つて筆力充実。

花梢君 字々の懐も大きく、伸びやか。

(二・三段目) 武内美仁 選評

美桂君 澄みきつた線で余裕を感じ

秋桜君 ゆつたり五字が納まって見

光翠君 流れ円滑にて軽快な仕上が

恵泉君 線はよく伸びて、バランス

紫秋君 形も良く、伸びやかな線で

(三・四段目) 武内美仁 選評

美草君 線丸く骨格もしっかりした

知加君 素直な線で健康な作。

和美君 飾り気なく、ゆつたり書い

美香君 字々明るく、力みなく良く

美枝君 運筆自在に流れ安定してい

勝子君 気力充実の作。最後まで貫

(四段目) 中平美峰 選評

千賀君 伸びやかで、安定した作。

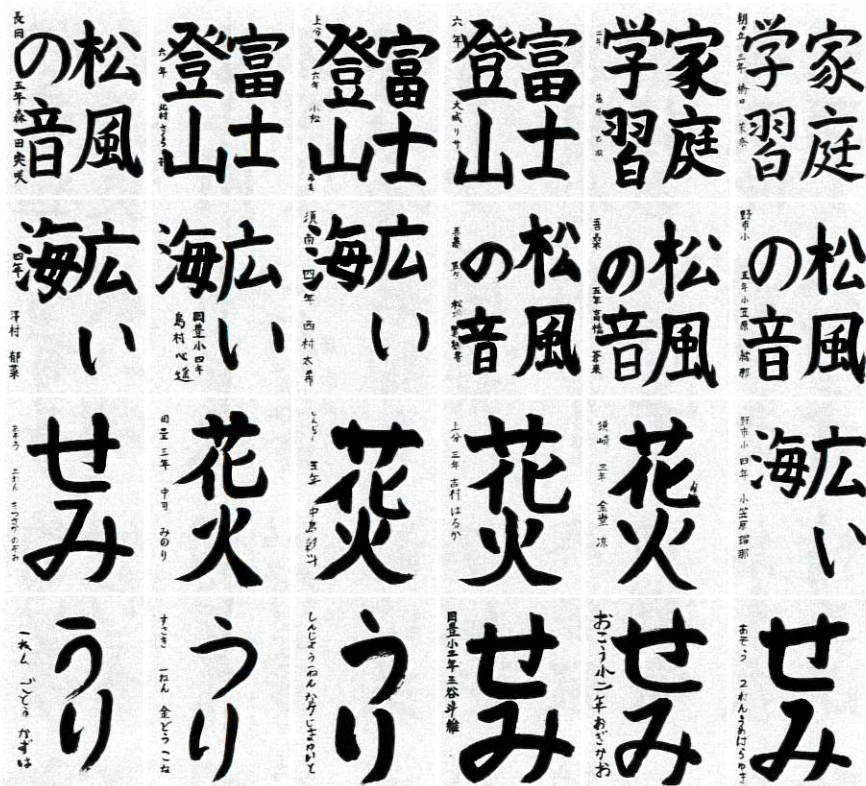
里恵君 堂々とした作。

衣里子君 筆が良く立ち、上手くま

とめている。

以孝	有張仲	蘭法	東嶺金	明	不可至	之六同	武並美	伊昔桓
如子情		唐此法		程園法	實山六		柳心之	
前行二書	前行二書	前行二書	前行二書	字景	前行二書	前行二書	威以剛	皆有等
美善	前行二書	前行二書	前行二書	紅左	前行二書	前行二書	前行二書	前行二書
情善深	前行二書	前行二書	前行二書	前行二書	前行二書	前行二書	前行二書	前行二書
陰之蘭	前行二書	前行二書	前行二書	前行二書	前行二書	前行二書	前行二書	前行二書
桂子	前行二書	前行二書	前行二書	前行二書	前行二書	前行二書	前行二書	前行二書

(一・二段目) 梅川桂龍 選評
 邦心君 線深く雄大、老練の作なり。
 幸仙君 力まず誇張なく、淡々と書して好感の作。
 桂園君 十七帖を臨し、気脈貫通の作。
 孝北君 線鋒安定し、まとまりあり。
 和子君 線に深い味わいがあり心地よい。
 竹山君 強靱な線でグイグイと迫ってくる感あり。
 (二・三段目) 廣末幽念 選評
 理奈君 大胆で思いきった作品。すばらしい。
 紅花君 丁寧さが感じ取られ味わいあり。
 幸子君 筆に伸びがあり余白が生きている。
 美水君 じっくり落ちついた筆運びで良い。
 紫秋君 ならめらかな動きで良い。
 (三・四段目) 廣末幽念 選評
 加寿君 全体が良く流れてみえる。
 久遠君 おおらかな気分で捉えています。
 美香君 運筆軽快で安定した作。
 明美君 作品として良くまとまっている。
 虎之介君 重厚な作品で良い、紙面に対して文字が大きい。
 伸枝君 力みなく良くまとめている。
 (四段目) 岡林邦心 選評
 千賀君 灌頂記を良く捉えて味わい深い。
 志津君 十月五日帖をていねいに書けて良い。
 桂子君 蘭亭叙の雰囲気が出て良い。



(一段目) 中学部 佐々木港花 選評

葉奈君 〓 まじめに書いています。

乙羽君 〓 墨料が多いですが伸びやかに書いています。 深瀬緑堂 選評

(二段目) 小学六年

リサ君 〓 元氣よく力強い。

希美君 〓 のびやかで、ていねいに書いています。

さくら子君 〓 明るくしつかりまとめている。

(一・二段目) 小学五年

実咲君 〓 おおらかに書いています。

結那君 〓 一字一字ていねいに書いています。

蒼來君 〓 堂々として力強い。

美緒音君 〓 筆力はあるがもう少していねいに。

(二・三段目) 小学四年 河村容舟 選評

太希君 〓 バランスよく明るく書いています。

心遙君 〓 元氣よくまとまっています。

郁菜君 〓 線がしつかりして力強い。

瑠那君 〓 ていねいに書いています。

(三段目) 小学三年

涼 君 〓 力強くよく書いています。

はるか君 〓 ていねいに書いています。

彩斗君 〓 元氣に書いています。

みのり君 〓 まとまりよく書いています。

(三・四段目) 小学二年 萩野羽花 選評

望未君 〓 形よく、ていねいに書いています。

由菜君 〓 太い線で、よくまとまっています。

かお君 〓 大きくのびのび書いています。

斗維君 〓 元氣よくすなおに書いています。

(四段目) 小学一年 水田紅子 選評

ゆいと君 〓 力よく元氣に書いています。

こな君 〓 のびやかにすつきり書いています。

和葉君 〓 元氣にていねいに書いています。

上分 梅原 百叶
須崎 松田 菜乃

「クラスがえがあった。休み時間をいっしょに過ごす人。教室の移動に連れ立って行く人。何人かの友達ができた。けれど、ときどきすうすうと寒いような心持ちになる。」
浦ノ内 五・五〇・中平 澤里

「クラスがえがあった。休み時間をいっしょに過ごす人。教室の移動に連れ立って行く人。何人かの友達ができた。けれど、ときどきすうすうと寒いような心持ちになる。」
須崎 六・九〇・松田 菜乃

「おくのほろ道」は、松尾芭蕉が、旅を記した紀行文です。旅先で見聞したこと、心を動かされたこと、書きつづる気持ちは、今のわたしたちと同じだったのではありませんか。
長田 小五・九〇・森田 奥次

「おくのほろ道」は、松尾芭蕉が、旅を記した紀行文です。旅先で見聞したこと、心を動かされたこと、書きつづる気持ちは、今のわたしたちと同じだったのではありませんか。
吾桑 長岡 森田 実咲
松坂 美緒音

浦ノ内 中平 澤里
浦ノ内 正木 芳尚

「おくのほろ道」は、松尾芭蕉が、旅を記した紀行文です。旅先で見聞したこと、心を動かされたこと、書きつづる気持ちは、今のわたしたちと同じだったのではありませんか。
浦ノ内 五・五〇・中平 澤里

まだ戦争のはげしかったころのことです。食べる物といえばお米の代わり配給される。おいもや豆やかぼちゃ。しかありませんでした。
浦ノ内 四・七〇・正木 芳尚

まだ戦争のはげしかったころのことです。食べる物といえばお米の代わり配給される。おいもや豆やかぼちゃ。しかありませんでした。
須崎 四・六〇・田村 紗雪

まだ戦争のはげしかったころのことです。食べる物といえばお米の代わり配給される。おいもや豆やかぼちゃ。しかありませんでした。
岡崎 田村 紗雪
岡崎 島村 心遥

すきき 金堂 涼
上分 吉村はるか

ずぐりは、雪の上で回して楽しむことです。ずぐりは、雪の上で回して遊ぶことが出来るように心ぼうの先が太く、丸く作られています。
上分 三・四〇・吉村はるか

ずぐりは、雪の上で回して楽しむことです。ずぐりは、雪の上で回して遊ぶことが出来るように心ぼうの先が太く、丸く作られています。
上分 三・四〇・吉村はるか

ずぐりは、雪の上で回して楽しむことです。ずぐりは、雪の上で回して遊ぶことが出来るように心ぼうの先が太く、丸く作られています。
上分 三・四〇・吉村はるか

風の ゆうびんやさん。てどんな人ぶつか。ほかに、人ぶつか。どんな人ぶつか。出てくるのかな。
あそふ 二・四〇・まづさかのぞみ

あそふ うめばらゆま
うらノ内 寺内 かの音

風の ゆうびんやさん。てどんな人ぶつか。ほかに、人ぶつか。どんな人ぶつか。出てくるのかな。
あそふ 二・四〇・まづさかのぞみ

風の ゆうびんやさん。てどんな人ぶつか。ほかに、人ぶつか。どんな人ぶつか。出てくるのかな。
あそふ 二・四〇・まづさかのぞみ

どんな あじがするでし。う。さ。とうは あまい。あじが します。
しんじょう 二・四〇・まづさかのぞみ

どんな あじがするでし。う。さ。とうは あまい。あじが します。
しんじょう 二・四〇・まづさかのぞみ

池川 片岡 さゆき
あそふ まづさかのぞみ

しんじょう なかじまゆいと
すきき 金どう こな

第968回 競書成績

○印規定・随意共通昇級

条幅

審査 福原 暁雲

(※印写真版)

★推薦

※江西澄翠
※岩河里華
※大原桂園
※中平幸仙

★天位

※河村容舟
※大石千施
※小笠原廣秋
※水田紅子
※中平美峰
弘田賀峰
岩谷紅花
伊吹悠道
大崎花梢
岡林邦心
横山星舞
門田恵子
西山極山

★地位

田村和子
大井 淳

※濱田幸子
※氏原美津
※川崎志津
深瀬緑堂
岩崎竹山
松本世津
中城康華
北村桂旭
藤原朱鳳
明石美桂
池 芳春
平井桂草
山本恵歩
大崎紫陽
杉本美陽
岡林 翠
坂本碧香

★人位

※丸田宏子
※濱田順子
高橋桜芳
田村眉州
岩村 祥

規定

審査 前田 秀華

★師範

須崎 江澄翠
東洋 弘田賀峰
須南 野中恵花
久礼 奥堂皓月
久礼 中平美峰
旭筆 河村容舟
山田 西山極山
山田 岡林邦心
越知 大原桂園
越知 中平幸仙
須崎 戸田孝北
野市 深瀬緑堂
小笠原廣峰

山川百合
山崎隆志
浪上理奈
大平圭子
藤田美知子
横山桂華

須南 天野喜泉
仁淀川 天野紫陽
仁淀川 藤原朱鳳
鷹ノ巣 松本世津
高知 丸田宏子
上 佐竹江月
吾桑 山本恵歩
吾桑 高橋桜芳
高知 松浦明子
佐川 小野山美喜
佐川 林口花道
窪川 門田恵子
山田 西森智泉
山田 桑原智鳥
大野見 西村芳香
大野見 今井真理
窪川 山中紅風
窪川 岩崎竹山
窪川 田村和子
高知 北村桂旭
旭筆 大野美賀
旭筆 別役美佐
越知 大石千施
越知 池 芳春
久礼 横山桂華
久礼 山西春草
山久 坂本碧香
山久 吉田深美
旭筆 山川百合

審査 武内 美仁

★六段

★五段

★四段

窪川 明石美桂
窪川 広田秋桜
東洋 岩谷紅花
東洋 大井 淳
須崎 伊吹悠道
野市 田村星子
須崎 岡村玉水
大野見 岡村玉泉
明石 浪上理奈
久礼 岩村 祥
香北 岡村妙慧
窪川 吉永光翠
窪川 津野恵泉
窪川 山本心春
窪川 濱田幸子
窪川 山脇佳月
窪川 中城康華
窪川 西村由香
窪川 鈴木輝代
越知 岡林 翠
香北 岡本美水
窪川 横田紫秋
佐川 西森啓助
大野見 杉本美邦
旭筆 高橋翠園
旭筆 濱田順子

香北 岡本薫山
旭筆 山崎隆志
須崎 高橋伸水

審査 武内 美仁

★三段

★二段

★初段

窪川 高橋美草
須崎 渡辺加寿
仁淀川 品原律子
馬路 金子知加
池川 川下久遠
仁淀川 後藤和美
須崎 市川美香
仁淀川 松坂美枝
馬路 藤原勝子
馬路 久保可奈
南礼 川口虎之介
南礼 濱田美恵子
東洋 西尾明美
東洋 城尾 彩
馬路 前田伸枝
仁淀川 川内みさ
仁淀川 鶴井未来
仁淀川 掛水勝恵
仁淀川 中内泰子

審査 中平 美峰

★一級

★二級

★四級

★五級

山田 尾立千賀
浦ノ内 藤田美知子
馬路 芝 沙織
馬路 清岡奈津子
久礼 山中英男
高知 山岡斗津
高知 川崎志津
高知 小松悦枝
西内俊二
東洋 富山里恵
東洋 太田有紀
仁淀川 藤原衣里子
仁淀川 片岡桂子
仁淀川 藤原杏実
仁淀川 吉永美佐
仁淀川 片岡晃美

低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切つて下さい。
★臨書は出典名を記入のこと。

随 意		★師範		★準師範	
審査 梅川 桂龍	岡林邦心 中平幸仙 大原桂園 岩里華 中平美峰 江西澄翠 野中恵花 弘田賀峰 小笠原廣峰 水田紅子 深瀬緑堂 河村容舟	戸田孝北 田村和子 岩崎竹山 山川百合 池川芳春 吉田深美 井口花道 横山桂華 北村紅旭 山中紅風 小野山美喜 松本世津 天野喜泉			
★五段 大野美賀 坂本碧香 大平圭子 氏原美泉 田村眉州 門田恵子 大崎花梢 松浦明子 橋本祝子 西村芳香 藤原紫陽 高橋桜芳 別役美佐 丸田宏子 山本恵歩 山西春草 西森令泉 田中恵風 桑原智子 平井桂草 高橋朱鳥		★六段 浪上理奈 岩谷紅花 岩村妙祥 岡村花道 大井淳 伊吹悠道 下元玉泉		★初段 市川美香 西尾明美 川口虎之介 前田伸枝 瀧田美恵子 松坂美枝	
★四段 横田紫秋 杉本美邦 濱田順子 西森啓助 山崎隆志 高橋翠園 岡本薫山		★二段 川下久遠		★三段 渡辺加寿	
★一級 岡林邦心 尾立千賀 川崎志津 藤田美知子 小松悦枝		★二級 太田有紀 富山里恵		★三級 ○片岡桂子 藤原衣里子	
第902回毛筆成績 ○印は昇級		中学部 三年 ★特待生 朝ヶ丘 橋田茉奈 朝ヶ丘 鍋島 綜 ★九段 高知 三本晴士 ★初段 仁淀川 高芝仁貴 ★四級 仁淀川 ○藤原さくら ★三段 池川 藤原乙羽 仁淀川 藤原杏実		小学部 毛筆六年 審査 深瀬 緑堂 ★九段 多ノ郷 大城りサ 上分 梅原百叶 須崎 松田菜乃 ★八段 上分 小松希美 長岡 宮脇改太 須崎 谷口桜心 池川 鶴井香月 ★七段 長岡北村さくら子 岡豊 島村倅空 ★六段 長岡 竹内陽南子 上分 田邊璃音 須崎 柳本稀衣 上分 柳本稀衣 ★五段 吾桑 梅原蒼茉	

(出品票)

のり代

7年
9月
条幅

氏

名

臨書は出典名

★四段 岡豊 中司こころ ★三段 池川 藤崎杜真 別府 後藤 樹 毛筆五年 審査 深瀬 緑堂 ★九段 長岡 森田実咲 ★八段 野市 小笠原結那 ★七段 夜須 西村朝陽 小高坂 川西康介 ★六段 吾桑 高橋蒼來 吾桑 松坂美緒音 馬路 小松太緒 佐古 田村健悟 須崎 金堂莉李 須崎 津野聖佳	★四段 吾桑 吉門蒼馬 ★三段 吾桑 宮崎穂花 長岡 西内明利 夜須 清藤 蘭 ★一級 上分 中山結愛 ★二級 上分 赤崎南美 ★八級 別府 ○片岡龍威 毛筆四年 審査 河村 容舟 ★七段 須南 西村太希 須崎 毛利香花 ★六段 須崎 田村紗雪 浦ノ内 正木芳尚	★五段 上分 梅原未来 ★四段 岡豊 島村心遙 長岡 竹内伽菜心 ★三段 多ノ郷 森光梨衣奈 長岡 宮脇治太 ★二級 越知 藤崎華乃 吾桑 長山優奈 ★初段 長岡 澤村郁菜 ★一級 野市 小笠原瑠那 ★六級 別府 ○藤原すみれ ★九級 池川 ○片岡美桜 越知 ○宮脇未羽	毛筆三年 審査 河村 容舟 ★五段 須崎 金堂 涼 ★四段 上分 吉村はるか 多ノ郷 森光連太郎 ★三段 新莊 中島彩斗 吾桑 高橋依吹 多ノ郷 橋田かほ 上分 橋田一凛 ★二段 岡豊 中司みのり 岡豊 島村昇牙 朝倉 根口心花 ★初段 馬路 小松時生 ★九級 越知 ○宮脇芽生 長岡 ○金堂孝亮 池川 ○藤原汐零 別府 ○吉永羽唯	★新規 九級編入 多ノ郷 濱田理仁 もうひつ二年 審査 萩野 羽花 ★三段 吾桑 松坂望未 ★初段 吾桑 梅原由菜 野市 小笠原恵那 ★一級 岡豊 荻 かお ★五級 岡豊 ○三谷斗維 ★七級 別府 ○片岡脩平 ★八級 別府 ○藤原みずき	もうひつ一年 審査 水田 紅子 ★二段 新莊 なかじまゆいと ★初段 須崎 金どうこな ★一級 別府 後藤和葉 池川 鶴井遥都 ★七級 池川 ○藤原成琉 ★九級 池川 ○大西悠心	
---	--	---	--	---	--	--

(出品票)

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

のり代	氏名	段	級	のり代	氏名	段	級
7年9月	氏名	段	級	7年9月	氏名	段	級
規定	氏名	段	級	随意	氏名	段	級
	氏名	段	級		氏名	段	級

第701回硬筆成績

○印は昇級

硬筆六年

審査 野中 恵花

★特待生

上分 梅原百叶
多ノ郷 大城リサ
多ノ郷 松浦結菜

★九段

須崎 松田菜乃
上分 小松希美

★八段

長岡北村さくら子
長岡 宮脇改太
長岡 松山翔
浦ノ内 森岡虹
久礼 窪田栄優
須崎 谷口桜心
長岡 竹内陽南子
浦ノ内 美島希以花
上分 田邊璃音

★七段

浦ノ内 森田葵
越知 片岡杏璃

★六段

上ノ加江政岡桃加
須崎 田村拓海
浦ノ内 山本彩喜
吾桑 梅原蒼菜

★五段

上分 柳本稀衣
岡豊 中司こころ
岡豊 島村倅空
潮見 須賀勇介
上ノ加江岩田健介
浦ノ内 久保田健介

★四段

別府 後藤 樹

★三段

浦ノ内 中田翔音

★二段

吾桑 高橋芽生奈
藤沢 駒崎信慈

★初段

吾桑 堅田有咲
審査 江西 澄翠

硬筆五年

★九段

長岡 森田実咲

★八段

野市 小笠原結那
夜須 西村朝陽

★七段

小高坂 川西康介

★六段

吾桑 松坂美緒音
須崎 薦田コモモ
久礼 津野聖佳
須崎 金堂莉李
吾桑 高橋蒼來
越知 米澤陽翔
佐古 田村健悟
夜須 清藤 蘭

★五段

浦ノ内 中平滯里
久礼 黒原小夏
越知 西森優奈

★四段

吾桑 吉門蒼馬
馬路 笹岡玲斗
吾桑 木下歌乃
宮崎穂花

★三段

長岡 西内明利
上分 橋田 陸
吾桑 笹岡蒼馬

★二段

池川 片岡亜李紗
池川 北村日和
越知 大原穂乃花

★初段

奈路 植野 新
上分 中山結愛
上分 ○赤崎南美
別府 ○片岡龍威

硬筆四年

審査 森本 寿山

★七段

浦ノ内 正木芳尚

★六段

須崎 田村紗雪
須崎 毛利香花

★五段

浦ノ内 藤田彩葉
浦ノ内 池田理人

★四段

岡豊 島村心遥
長岡 竹内伽菜心
越知 藤崎華乃
多ノ郷 光梨衣奈
上分 梅原未来
長岡 宮脇治太
浦ノ内 山本瑞貴

筆・硯・墨・古法帖・墨液・画仙紙
書道用具萬般乞来店

(株) 山 齋

高知市南宝永町14-18
TEL (代) (882) 1394番
夜間・TEL (882) 1392番

★二段 池川 藤崎菜央 長岡 猪野光騎	★初段 長岡 澤村郁菜 浦ノ内 森田海音	★六級 別府○藤原すみれ	★八級 久礼 細木龍生	硬筆三年 こうひつ 審査 市原 處艸	★五段 須崎 金堂 涼	★四段 上分 吉村はるか 吾桑 高橋依吹 多ノ郷 森光連太郎 多ノ郷 橋田かほ	★三段 朝倉 根口心花
上分 中島彩斗 上分 はし田一か 久礼 黒原李香 浦ノ内 徳永隼斗 加茂 山岡瑞季	★二段 池川 片岡紗雪 池川 北村心暖 久礼 政岡有美 岡豊 中司みのり 久礼 下谷琴春 池川 上村心晴 長岡 安井 颯 池川 伊藤日向	★初段 吾桑 鈴木 花 長岡 金堂孝亮 上岡 政岡倉史 久礼 小林奈穂 奈路 植野 葵 岡豊 島村昇 牙	★一級 大谷北 倉持百花 城東 丸山颯士 上ノ加江 大内柚乃 吾桑 宮崎陽香 吾桑 堅田彩乃 長岡 村上こゆ	こうひつ二年 審査 石川 美水	★四段 吾桑 松坂望未 吾桑 梅原由菜	★三段 浦ノ内 古岡まひろ	★二段 浦ノ内 宮田衣音 浦ノ内 中平湧大 附属 江頭 航
★四級 長岡 大塚もも 馬路 木下魁人	★九級 越知 ○宮脇芽生 別府 ○吉永羽唯 池川 ○藤原汐雪 久礼 佐竹真到	★新規 十級編入 多ノ郷 濱田理仁	こうひつ二年 審査 石川 美水	★四段 吾桑 松坂望未 吾桑 梅原由菜	★三段 浦ノ内 古岡まひろ	★二段 浦ノ内 宮田衣音 浦ノ内 中平湧大 附属 江頭 航	★初段 浦ノ内 寺内かの音 久礼 森岡 虹
★初段 浦ノ内 寺内かの音 久礼 森岡 虹	★一級 佐川 ●隅田珠有 野市 井上めい 久礼 小笠原恵那 久礼 奈路かなえ	★二級 岡豊 荻 かお	★四級 上分 ○橋田果歩	★五級 岡豊 ○三谷斗維	★六級 別府 ○片岡脩平	★八級 べふ ○ふじはらみずき	★十級 久礼 ○細木しょうき
こうひつ一年 審査 西村 百花	★二段 しんじょう なかじまゆいと	★初段 須崎 金どうこな 別府 後藤和葉	★八級 浦ノ内 ○とくながあやと 久礼 ○小林じゅんな 池川 ○大西悠心 久礼 ○日林にこ	★九級 久礼 ○毛利いろは	★十級 浦ノ内 ○やまさきひな 吾桑 ○鈴木 杏 池川 ○藤原成琉		

中国文房四宝
国産書道用品筆
久保田号銘筆

有限会社 樹筆堂

〒780-0818 高知市宝永町3-3
TEL (088) 882-1454
FAX (088) 884-7413

のり代			
7年 9月 毛筆			
校名	学年		
保年			
	氏名		
	段級		

★新規
十級編入
久礼 田上ゆうた

こうひつ
ようち・ほいく

審査 西村 百花

★六級
おひさま
もりみつるな

のり代			
7年 9月 硬筆			
校名	学年		
保年			
	氏名		
	段級		

昇段試験に関する件

○受験料は期日（九月四日）迄に
口座に振込んで下さい。

○受験作品及び受験料の審査会場
での受付けは、審査日（九月一
日）当日の八時三十分～九時ま
です。

時間、厳守して下さい。

○昇段試験「申し込み内訳表」は
正しく書いて 作品に添付して
下さい。

第六十八回 龍跳展入賞作品について

(審査：福原・廣末・武内・梅川) コメント：福原・梅川

龍跳賞：岡崎 緑水君 四十字の多字数を、全紙(半切二枚)に静かに運筆し、貴品よく仕上がっている。

幽玄齋賞：河村 容舟君 渴筆を多く取り入れた明るい作。濃墨による運筆に圧が利き過ぎて、筆さばきに苦勞が見える。

湖筆堂賞：中平 美峰君 ゆったりと、まろやかな線で明るく仕上がっている。

優秀賞(順不同)

：浜崎 洋堂君 巧みに筆を駆使し、リズムミカルに書いている。今後、更に筆を吊ってゆったりと書いてください。

：小笠原廣峰君 生氣あり気持ちの良い隸書作。今後、波磔の線の抜き方の研究を(ゆっくりと)。

：松下 紫香君 規模小なりも線質、文字等達者で老練の作です。

：奥堂 皓月君 単体の書きぶりで、線に勢いがあり明るい作品。

：門田 恵子君 文字の大小をつけて、立体感がある。単調な線にならないよう気をつけてください。

：隅田 亘心君 今回は、動きをセーブし落ち着いた作で力強い。「隣」の縦線はやや重い感じがしますが。

：野中 恵花君 独特の線質で流れ良くリズムミカル。少し行と行の響きあい欲しいか、と感じました。

：岡田 雄山君 この作品味わい深い「一」字など、なかなかこうは書けないです。

：水田 紅子君 若干上方にウエイトが置かれているが、右下の流れは素晴らしい。

新人賞：浪上 理奈君 若々しい書で一定のリズムを感じる。これからは深い線の研究をしてください。

受賞者の皆様、おめでとうございます。

龍跳展にご芳志を賜りありがとうございました。

幽玄齋様

久保田號様

書友閣

湖筆堂様

一休園様

第68回 龍跳展「学童の部」入賞者

毛筆の部

会長賞 仁 淀 中学2年 梅原杏実

優秀賞 朝ヶ丘 中学3年 橋田茉奈

池川 中学2年 藤原乙羽

土佐女子 中学1年 二宮嘉奈子

岡豊 小学6年 中司こころ

吾桑 小学5年 高橋蒼來

岡豊 小学4年 島村心遙

上分 小学3年 吉村はるか

別府 小学2年 片岡脩平

須崎 小学1年 こんどうこな

努力賞 野市 小学5年 小笠原結邦

硬筆の部

会長賞 多ノ郷 小学6年 大城リサ

優秀賞 長岡 小学5年 宮脇改太

大谷北 小学4年 大木陽智

須崎 小学3年 田村紗雪

吾桑 小学2年 金堂 涼

岡豊 小学1年 松坂望未

おひさま 小学1年 松木あおい

ほいく もりみつるな

【認定証について】

昇段、昇級された方で認定証が入用の方は、左記によりお申し込み下さい。

記

★師 範 三千円

★準師範以下一般 二千元

★学 生 一千元

(注意) 申込時左記事項を必ずお知らせ下さい。

① 昇段の年月日

② 学生は学校名と学年

③ 一般は市町村名

(申込先) ご希望の先生に要項を明記した文書で

直接お申し込み下さい。

〒七八一七四二二

安芸郡東洋町河内三〇四

龍跳書道会 福原暁雲

〒七八一一三〇一

高岡郡越知町越知甲二二一七一六

龍跳書道会 梅川桂龍

秋季昇段級試験作品募集

▽師範の部 (受験資格・本会準師範位に限る)

。課題

大漠沙如雪 燕山月似鉤
何當金絡腦 快走踏清秋

大漠沙 雪の如く／燕山 月 鉤に似たり／何か當に絡腦を金にして
／快走 清秋に踏む

。右の詩句を小画仙半折に隸、楷、行草体の三枚と一ページ十月五日帖より、十二文字以上を節臨して計四点出品のこと。
。作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで姓号を明記すること。
。当選者は本会師範に推挙する。

▽第一部 (受験資格 一般部段位、級位の者)

。課題

秋風南陌無車馬 獨上高樓故國情

秋風 南陌 車馬無し／獨り高樓に上る 故國の情

。右の詩句を小画仙半折に楷、行草体の二枚と一ページ十月五日帖より、十二文字以上を節臨して計三点出品のこと。
。作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現段級と姓号を明記すること。
。当選者は準師範以下相当段位に認定編入する。

▽第二部 (受験資格 一般部級位の者)

。課題

秋雲靜晚天

秋雲 晩天に静かなり

。上記を楷、行、草の三体を半紙三枚出品のこと。
。作品を楷、行、草の順に縦に貼つぎすること。
。作品は無落款とし、作品裏面左下にエンピツで現級位と氏名を明記すること。
。当選者は初段以下相当級位に認定編入する。

△出品料

師範部・八千円／第一部・六千円／第二部・四千円
(作品と同時に納入してください)

師範参考手本は本会役員は書かない。

第一、二部参考手本を希望される人は本会役員に直接申込んで下さい。潤筆料は条幅三点につき一万五千元、半紙三点につき五千元。

▽学生・学童の部 (毛筆部)

課題字句「龍跳」七月号掲載(七月二十日締切)の課題字句とします。

。規格は半紙。一人一点とします。

。書体は自由です。

。作品の裏にエンピツで学年と段級位・氏名を書くこと。(段位は漢数字、級位はアラビア数字で) 作品の表には絶対に書いてはいけません。

。出品料 五百円

▽硬筆作品

。課題の文字は龍跳七月号(七月二十日締切)の課題字句とします。

。それぞれの学年に応じた硬筆用紙に規定の字句、学年段級位、氏名を正しく書いて出品してください。

。段位は漢数字、級位はアラビア数字でハッキリ記入のこと。

。出品料 五百円

※出品作及び受験料を審査当日、会場に持ち込む場合は、八時三十分〜九時迄の受付です。

△作品の締切 令和七年九月四日(木) 必着のこと。

△審査日時 令和七年九月七日(日) 午前九時三十分より

△審査場所 高知城ホール

△受験作品送付先 千七三二〇八一 南国市片山四九〇 西山極山 宛

注 封筒表に「昇試作品在中」と明記すること

春・秋・季 昇段(級)試験申し込み内訳表

申込者氏名 _____

	出 品 料	点 数	金 額	払い込み方法 (いずれかを○で囲む)
師範の部 (春季のみ)	8000円	点	円	現金・為替・振込み
第一 部	6000円	点	円	現金・為替・振込み
第二 部	4000円	点	円	現金・為替・振込み
学生・学童の部	出 品 料	点 数	金 額	払い込み方法 (いずれかを○で囲む)
毛 筆	500円	点	円	現金・為替・振込み
硬 筆	500円	点	円	現金・為替・振込み
合計金額			円	

※ 昇試作品に上記内訳表を必ず添付して下さい。 ※グループで送られる方は合計点数で記入して下さい。
※ 師範の部は4体、第1部・第2部は3体を「1点」として下さい。

連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一

隅田亘心

龍跳書道会 振替口座番号

01690-3-31925

電話（〇八八九）三五〇〇九七一番

・月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話（〇八八）八六五―八八五七番

・「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原暁雲

電話（〇八八七）二九―二六五〇番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話（〇八八九）四二―三〇六七番

・送本についての連絡先

（冊数の相違等については当方へご連絡下さい。）

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話（〇八八九）四七―〇七二一番

競書の出品について

清書のべ切り

一、毎月二十日

一、清書には必ず所定の出品票を作品左下端に貼付して下さい。

※段位は朱字、級位は黒字で記入して下さい。

一、新規出品は、出品票の級欄に「新」と記入、二回目には編入された級を記入して下さい。

一、毎月発表の成績に○印がついたら昇級です。から次回から一階級上の級で出品して下さい。

一、規定、随意は共通とし、一方が昇級すれば双方昇級となります。

一、一級からは、段位になりますが、段位取得には年二回の春と秋の試験を受けていただくようになります。

★出品票についての注意点

随意的臨書は必ず出典名を記入して下さい。

電話 (088) 86518857

西山極山 宛

〒783-0081 南州市片山四九〇

月例作品送り先

月例競書課題											部 別	締切日
保 育	" 一 年	" 二 年	" 三 年	" 四 年	" 五 年	小 学 六 年	" 一 年	" 二 年	中 学 三 年	半 紙 随 意	半 紙 規 定	一 般 条 幅
そ ば く さ	む し お に	夕 日 木 立	秋 の 山 楽 し い 本	足 音 高 し 天 空 の 里	体 育 大 会 出 発 進 行	科 学 技 術 空 前 絶 後	言 語 表 現 理 路 整 然		任 意 任 意	秋 水 界 平 野 暮 煙 分 遠 村	任 意 任 意	九 月 二 十 日 締 切
							試 験 問 題					十 月 二 十 日 締 切

会 費 の 送 金 に つ い て

会 費 : 半年分 3,000円 / 1 年分 6,000円

1 ヶ月の龍跳誌郵送料 (R6.10~)
(幸便搬送の方は〒料不要)

Ⓐ	1 冊	180円
Ⓑ	2 冊~7 冊	210円
Ⓒ	8 冊~20冊	430円

21 冊以上は次の計算による。

21 冊 Ⓒ+ Ⓐ= 610円×月数
22 冊~27 冊 Ⓒ+ Ⓑ= 640円×月数
28 冊~40 冊 Ⓒ× 2 = 860円×月数
50 冊の場合 Ⓒ× 3 = 1,290円×月数

◎会費と龍跳誌〒料は原則として半年分または1 年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ

・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
(お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号 (○冊) より○月号まで○ヶ月分
誌代 ○円 / 〒料 ○円

と記入のこと。

印刷所	発行所	発行人	編集室
(有)笹岡印刷所	龍跳書道会	福原 曉 雲 (本部)	福原 曉 雲
須崎市東古市町二一六	電話 (〇八七) 二九一二六五〇	安芸郡東洋町河内三〇四	野 島 桂 山
電話 (〇八九) 四二一〇二四四	電話 (〇八七) 二九一二六五〇		江 西 澄 翠
			中 平 美 峰